

第3講：日本の博物館

1. 近代博物館の導入

1) 国立の博物館は博覧会から始まった

明治政府は多くの分野でヨーロッパを模倣した。博覧会もその一つだった。日本でも古くから見世物があり、江戸時代には物産会〔ぶっさんえ〕という類似の催しがあり、当時の日本人にとって受け入れが容易だったと思われる。会場は広い建物が利用できる寺院や孔子廟〔こうしびょう、湯島聖堂もその一つ〕が用いられた。

東京国立博物館も国立科学博物館も東京の湯島聖堂〔東京ドーム近く〕で開催された博覧会を起源としている。

東京国立博物館（東博）

国立科学博物館（科博）

出自 文部省博物館による博覧会：明治5年（1872）

創立 明治5年（1872）

明治10年（1877）

創立時の名称 文部省博物館の博覧会

教育博物館

2) 東京国立博物館の歴史



本館



平成館



東洋館



法隆寺館

*図版〔写真や図、表など〕の出典が書いていない場合、それは著者のオリジナル

東京国立博物館の歩み http://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=155

1872（明治5）年 文部省博物館による博覧会〔湯島聖堂で開催〕（東博創立年）

→博覧会事務局が内務省に移管→（内国勸業博覧会）→農商務省に移管、上野公園に本館が開館

→宮内省に移管、帝国博物館となる→東京帝室博物館に改称→関東大震災〔1923（大正12）〕

- 1925 (大正14) 年 関東大震災の影響を受け、天産部 [自然史] 資料を東京博物館 (現・科博) に譲渡
- 1938 (昭和13) 年 現在の本館が開館
- 1947 (昭和22) 年 文部省に移管、国立博物館と改称、文化財保護委員会付属機関
- 1950 (昭和25) 年 文化財保護法により文化庁付属機関となる
- 1952 (昭和27) 年 東京国立博物館に改称
- 2001 (平成13) 年 独立行政法人国立博物館を設立 (これは組織名称、博物館の名称はそのまま)

3) 国立科学博物館の歴史



日本館外観



日本館3階北翼フタバスズキリュウ



地球館1階系統広場



地球館2階木製骨格標本 科博は科学史や技術史の展示もある

国立科学博物館の概要と沿革 <http://www.kahaku.go.jp/about/summary/history/index.html>

- 1872 (明治5) 年 文部省博物館による博覧会
- 1875 (明治8) 年 博物館を東京博物館に改称 1877 (明治10) 年 教育博物館に改称：科博創立年
- 1923 (大正12) 年 関東大震災により施設と資料のすべてを消失→帝室博物館より自然史資料を譲り受け
- 1931 (昭和6) 年 東京科学博物館に改称、本館 (現・日本館) が開館
- 1949 (昭和24) 年 文部省設置法により国立科学博物館を設置 (改称)
- 1962 (昭和37) 年 自然史科学研究センターとしての機能付与、目黒の国立自然教育園を統合
- 1972 (昭和42) 年 新宿分館が完成、研究部を移転
- 1973年 国立極地研究所を分離、1976年 筑波実験植物園を設置
- 1999 (平成11) 年 地球館展示公開開始
- 2001 (平成13) 年 独立行政法人国立科学博物となる、2002年 産業技術史資料情報センター設置
- 2004 (平成16) 年 地球館全館公開

2007（平成19）年 英名変更 National Science Museum, Tokyo → National Museum of Nature and Science

2012（平成24）年 研究部と産業技術史資料情報センター設置が筑波地区に移転

4) 棚橋源太郎

1906年に実質的な館長となった棚橋源太郎（たなはし・げんたろう）は1950年代まで日本の博物館を牽引した。

棚橋源太郎とその博物館学(1) pdf 4.7 MB <https://core.ac.uk/download/pdf/59310683.pdf>

棚橋源太郎による社会教育のための展示デザイン https://www.jstage.jst.go.jp/article/jssd/57/0/57_0_F08/_pdf

* 「国立科学博物館大学パートナーシップ」 <https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/benefit.php>

学生証の提示で常設展の入館無料など特典いっぱい。農大も加盟している。

文部科学白書2018 第9章文化芸術立国の実現 https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201901/1420047_016.pdf

pdf 4.7 MB 第12節 博物館・劇場等の振興 342ページ（38枚目） 博物館行政の文化庁に全面移管後

文部科学白書2017 https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201801/1407992.htm

科博は第3章生涯学習社会の実現 133p.

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201801/1407992_010.pdf 1.6 MB

国立博物館は第9章文化芸術立国の実現 pp.359—365

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201801/1407992_016.pdf 4.5 MB



国立アイヌ民族博物館 2020年7月12日に開館した <http://nam.go.jp>

2. 国立の博物館

1) 狭義の「国立博物館」 「の」があるかないかで意味が異なるときがある

狭義の国立博物館は東京国立博物館・京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館の4館をさす

法律上の根拠は文化財保護法（＝文化財の陳列施設であり社会教育のための機関ではない）

文化財保護法を根拠とする国立の博物館は他に、国立美術館6館（東京国立近代博物館、京都国立近代博物館、国立映画アーカイブ、国立西洋博物館、国立国際博物館、国立新美術館）がある

博物館法は国立の博物館は対象外＝国立館に学芸員はいない、いるのは研究員

2) 博物館を規定する法律と設置者

博物館法	地方公共団体、民法法人（=会社以外、財団法人や宗教法人など）
文化財保護法	文化庁（狭義の国立博物館と国立美術館）
その他の法	文部省設置法*1→国立科学博物館 科学技術振興事業団法*2→日本科学未来館 アイヌ文化振興法→国立アイヌ民族博物館*3（主務官庁は国土交通省*4と文化庁*5）

*1 衆議院ウェブページ http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_housei.nsf/html/houritsu/00519490531146.htm

*2 国立の博物館は独立行政法人となったため、現在は個別の設置法を根拠とするが本質はそれ以前の法にある

*3 ウポポイ（民族共生象徴空間）NATIONAL AINU MUSEUM and PARK <https://ainu-upopoy.jp>

*4 アイヌ施策 | 北海道開発局 <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ud49g7000000ao02.html>

*5 アイヌ文化の振興等 | 文化庁 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/ainu/index.html>

3) その他の国立の博物館

文部科学省所轄以外のミュージアムは博物館の文字列の使用は避けることが多い。英語では museum を用いる

国土交通省近畿地方整備局 川の資料館 <https://www.kkr.mlit.go.jp/river/manabuasobu/watch.html>

海上自衛隊呉史料館「てつにくじら館」 JMSDF Kure Museum <https://www.jmsdf-kure-museum.go.jp>

三の丸尚蔵館 国に寄贈された皇室の美術品を収蔵、宮内庁所管 Museum of the Imperial Collections

日本語 <https://www.kunaicho.go.jp/event/sannomaru/sannomaru.html> 英語 <https://www.kunaicho.go.jp/e-culture/sannomaru/sannomaru.html>

英語の名称が本質を現している。以下の例もおなじ

日本科学未来館 日本語の博物館は古いものを扱うという一般認識から避けた？

National Museum of Emerging Science and Innovation <https://www.miraikan.jst.go.jp>

英名で museum を名乗らない（名乗れない？）施設もある。理由は収蔵（所有または預かり）資料が無い

国立新美術館 英名は National Art Center, Tokyo <https://www.nact.jp>

4. 博物館法による区分【次回の授業で詳しく解説する】

1) 登録博物館

2) 博物館に相当する施設（呼称として博物館相当施設）

3) その他（呼称として類似施設）

5. 博覧会から博物館へ

東京国立博物館は博覧会を出自とし、博覧会に出品された文物が資料の起点にもなっている。京都市立美術館も大阪の天王寺動物園も博覧会の会場跡に設置された。日本で開かれた最大の博覧会は1970（昭和45）年の大阪万博であり、跡地の千里万博公園 [せんりばんぱくこうえん] には国立民族学博物館が設立され1976（昭和51）年に開館した。博覧会と博物館の結びつきは他国でも見られるが、日本では最も権威ある国立の博物館が同様の出自を持つ点が特徴的である。

明治4年（1871）京都博覧会（会場は西本願寺）翌年「第1回京都博覧会」開催

明治5年（1872）東京・湯島聖堂で官設博覧会（文部省博物局主催）→出品物は1873年ウィーン万博へ

明治10年（1877）内国勸業博覧会 東京・上野公園 入場者454千人

昭和15年（1940）紀元二千六百年記念日本万国博覧会（東京・横浜）→戦争で1970年まで延期

昭和43年（1968）北海道百年記念・北海道大博覧会（札幌） 内地では「明治百年」

45年（1970）日本万国博覧会（大阪万博） 大阪・吹田市

京都の博覧会 | 京都市 <https://www2.city.kyoto.lg.jp/somu/rekishi/fm/nenpyou/htmlsheet/toshi29.html>

史跡湯島聖堂 昌平坂学問所 | 史跡湯島聖堂 | 公益財団法人斯文会 <http://www.seido.or.jp/yushima.html>

2) 内国勸業博覧会

第1回 明治10年（1877） 東京・上野公園 跡地：東京国立博物館、国立科学博物館、恩賜上野動物園

第2回 明治14年（1881） 東京・上野公園

第3回 明治23年（1890） 東京・上野公園 入場者100万人突破

第4回 明治28年（1895） 京都・岡崎公園 跡地：市民会館、市立美術館

第5回 明治36年（1903） 大阪・天王寺公園 入場者4351千人 跡地：動物園、新世界・通天閣

イルミネーション、エレベータ、堺市に本格的で恒久的な水族館を設置→市立水族館として1961年まで存続

*「勸業」とはどういう意味？ 勸業博覧会の目的は？ **百貨店＝デパートの原形も博覧会にあるという

近代百貨店の誕生 三越呉服店 - 江戸東京博物館 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/s-exhibition/project/3821/近代百貨店の誕生-三越呉服店/>

デパートの元祖 勸工場 | 札幌市 <https://www.city.sapporo.jp/chuo/gaiyo/history/documents/3-20.pdf>

公文書にみる発明のチカラ 第一部 内国勸業博覧会：国立公文書館

日本語 URL が自動リンクにならない場合はコピペして下さい

<http://www.archives.go.jp/exhibition/digital/hatsumei/contents/category01.html>

1903年第5回内国勸業博覧会 | サムネイル一覧 | 博覧会一近代技術の展示場 [イルミネーションと堺水族館]

<https://www.ndl.go.jp/exposition/data/T/T028.html>

第五回内国勸業博覧会堺水族館図解：水産研究・教育機構 図書資料デジタルアーカイブ

http://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/A068_N1_7.html

堺水族館のあゆみ | 堺市 https://www.lib-sakai.jp/kyoudo/kyo_digi/sakaikoutoohama/kyo_digi_sui.htm



山本松谷「堺水族館の図」『風俗画報』臨時増刊269号（明治36.6.10） <https://www.ndl.go.jp/exposition/data/R/355r.html>

3) 大日本水産博覧会

第1回 明治16年(1876) 東京・上野公園

第2回 明治30年(1897) 兵庫・神戸和田岬 日本初の本格的な水族館を設置

神戸市：神戸の水族館 https://www.city.kobe.lg.jp/a09222/kosodate/lifelong/toshokan/furusato/kobe_shiru/suizokukan.html

4) 万国博覧会

1862年 ロンドン万国博覧会 日本の福沢諭吉など文久遣欧使節が視察

福沢の著作によって博物館と博覧会の両方の言葉が同時に輸入普及した

→博物館も博覧会もおなじ展示会という理解

1867年 パリ万国博覧会 幕府および薩摩藩と佐賀藩が出品 [統一国家になっていない状況]

1868年 明治に改元(その前は慶応、後が大正)

1873年 ウィーン万国博覧会 日本政府として初出品

1970年 日本万国博覧会(大阪万博) ←明治元年(1868)の約100年後

テーマ「人類の進歩と調和」、展示業界の確立、「ディスプレイ」の定着、太陽の塔

跡地：国立民族学博物館(国立学校設置法に基づく大学共同利用機関として1974年設立、1977年開館)

初代館長：梅棹忠夫(うめさお・ただお)は日本の展示や博物館思想に大きな影響を与えた

特別展「ウメサオ タダオ展」国立民族学博物館 <https://older.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/umesao/index>

1975年 沖縄国際海洋博覧会(沖縄海洋博) 沖縄・本部町→跡地に沖縄美ら海水族館

1985年 国際科学技術博覧会(科学万博) 茨木・つくば市

1990年 国際花と緑の博覧会(花博) 大阪・鶴見緑地

*万国博覧会は、規模の大きい一般博/登録博、小さい特別博/認定博、に区分される。大阪と愛知が登録博。

博覧会—近代技術の展示場 | 国立国会図書館 <https://www.ndl.go.jp/exposition/index.html>

博覧会資料COLLECTION | 乃村工藝社 <https://www.nomurakougei.co.jp/expo/history>

大阪万博 | 万博記念公園 <https://www.expo70-park.jp/cause/expo/>

参考文献

鈴木克美. 2003. 水族館：ものと人間の文化史113. 法政大学出版社.

鈴木克美・西源二郎. 2010. 新版水族館学—水族館の望ましい発展のために. 東海大学出版会

関秀夫. 2005. 博物館の誕生. 岩波書店(岩波新書953新赤版)

平凡社. 2005. 別冊太陽 日本のこころ113 日本の博覧会.

【レポート3】課題：博物館とは名乗っていないが、実質的には博物館という施設を紹介する

件名：博物館概論レポート3

本文：1行目：署名欄とし、学科、学籍番号[半角]、氏名(よみがな)とする。他のことは記さない

2行目：回答内容を簡潔に示すタイトルとする。他のことは記さない。1行におさめる

3行目：レポート本文は3行目から始める。文字数：本文400字以下のこと

その他条件：施設の正式名称(不明であれば愛称)、所在地(都道府縣市町村名)、訪問時期を記すこと

提出先：教員のアドレス y3uni@nodai.ac.jp

提出期限：5月17日(月)正午 遅れた場合も提出してください。減点しますが評価対象です